



おもな検査項目と基準値

基準値は実施する機関や、検査方法などによって異なる場合がありますので、ひとつの目安と考えてください

主な血液検査について

検査項目	基準値	この検査でわかること
AST(旧GOT)	10~40IU/l	肝臓や心臓などの細胞に含まれるアミノ酸造成を促進する酵素の数値です。これらが血液中に出了量を調べ、肝臓や心臓の異常を発見します。
ALT(旧GPT)	5~45IU/l	
T-CHO (総コレステロール)	130~220mg/dl	血液中のコレステロールの量を調べる検査。値が高い状態を高脂血症といい、動脈硬化の原因になります。
HDL コレステロール	男性 37~71mg/dl 女性 43~78mg/dl	HDL コレステロール(俗にいう善玉コレステロール) 値が低いと、血管が詰まりやすくなり、動脈硬化や心臓病の危険があります。
中性脂肪 (トリグリセライド)	40~149mg/dl	増えすぎると肥満や脂肪肝、動脈硬化の原因となります。
BS-S(血糖)	110mg/dl 未満(空腹時)	血糖は血液中のブドウ糖のこと。糖尿病を発見する為の検査で目安となります。